

## 原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について ( 2015年2月 検針分 )

2014年9月～2014年11月のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。  
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2015年2月 検針分の単位料金は2015年1月 検針分に比べて、1m<sup>3</sup>(45MJ)当り  
+ 2.8458 円(消費税込)、標準家庭(26m<sup>3</sup>)では月額 + 74 円の調整を行うこととなりました。

### ●一般ガス供給約款料金における調整単位料金

(消費税込)

	単位	(A) 2015年1月	(B) 2015年2月	(B)-(A)
A料金表 (0m <sup>3</sup> ～24m <sup>3</sup> )	円/m <sup>3</sup>	256.9040	259.7498	+ 2.8458
B料金表 (24m <sup>3</sup> を超える)	円/m <sup>3</sup>	198.9105	201.7563	+ 2.8458

### ●平均原料価格

	単位	2014年8月 ～ 2014年10月	2014年9月 ～ 2014年11月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	86,020	89,330	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	88,000	86,340	
平均原料価格	円/トン	86,460	89,530	62,680

平均原料価格 = LNG平均価格 × 0.9533 + LPG平均価格 × 0.0506

(10円未満端数四捨五入)

※平均原料価格が100, 290円以上となった場合は100, 290円

原料価格変動額 = 平均原料価格 - 基準平均原料価格 (平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき)  
= 89,530 - 62,680 = 26,800 円/トン

(100円未満端数切捨て)

### ●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

調整単位料金 = 基準単位料金 + 0.085 × 原料価格変動額 ÷ 100円 × (1 + 消費税率)

	単位	(A) 基準単位料金	(B) 2015年2月 検針分 調整単位料金	調整額 (B)-(A)
A料金表 (0m <sup>3</sup> ～24m <sup>3</sup> )	円/m <sup>3</sup>	235.1474	259.7498	24.6024
B料金表 (24m <sup>3</sup> を超える)	円/m <sup>3</sup>	177.1539	201.7563	24.6024

(小数点第5位以下の端数切捨て)

### ●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量(m <sup>3</sup> )	(A) 2015年1月	(B) 2015年2月	影響額 (B)-(A)
26	7,303	7,377	+ 74

計算式・・・基本料金(税込) + 調整単位料金(税込) × 使用量 (1円未満の端数は切り捨て)